

O u c h i
50
年史
大内公民館

Ouchi community center 50years history

山口市大内公民館 平成12年3月発行
山口市大字大内矢田951-5 TEL (083) 927-0473

ごあいさつ

大内公民館は、昭和23年1月1日に大内村立大内公民館として産声を上げ、半世紀が過ぎました。この間、町村合併により大内町立中央公民館、山口市立大内公民館へと変遷し、所在場所も、村役場内から中学校・小学校内の建物の一部、研修館等を経て昭和57年に完成した今の公民館に移り、現在に至っています。

公民館がコミュニティー活動の中核として、これまで果たしてきた役割は多大なものがあります。戦後の復興期から大内地区の活性化のために、歴代の館長さん・主事さんのご尽力は、計り知れないものがあったと推察されます。

殊に、次代の大内を担う青少年の育成には力を入られた足跡がうかがわれ、学級・講座の運営はもとより、大内地区の体育協会、青年団、子ども会育成連絡協議会、婦人会、青少年健全育成協議会等々の各種団体の結成に努力されたことが分かります。

公民館創設50周年を記念して、ここで今までの歩みをまとめてみようという試みが、この小冊子となったわけです。ここでは大内地区のすべての歩みを網羅できませんでしたが、出来るだけ見やすくするために、歴史の流れに従って、その時代の代表的な事業・行事等を中心にまとめてみる事ができました。

最後に、本誌の編集・作成にあたってご尽力いただいた皆様方に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

山口市大内公民館館長
長 沼 清 人

※大内菱の図柄は、昭和10年11月25日・大内尋常高等小学校発行「大内郷土読本」表紙から引用しました。

大内公民館

50年史

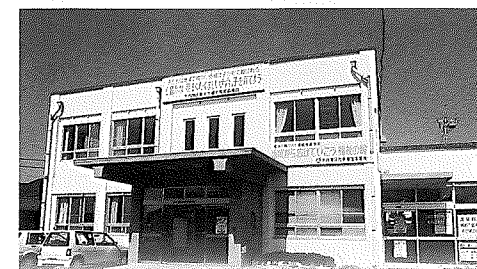
Ouchi community center 50years history

◎現在の大内

世帯数 7,095 世帯
人 口 20,054 人 (H11.4.1 現在)

平成10年度大内公民館利用状況

	利用件数	利用人数
定期利用団体 (64)	2,194	22,948
定期外利用団体	269	6,807
合計	2,463	29,755



目次

ごあいさつ	1
大内地区空撮	2
大内地区史跡紹介	4
大内地区と大内公民館 50年の歩み	7
占領政策の影響を受けながら スタートした公民館活動	8
大内公民館の新築と 本格的な公民館活動の開始	10
戦後復興から高度経済成長を迎え、 公民館活動の中で文化活動が盛んに	12
いよいよ高度経済成長期、 文化活動や体育行事が活発化、 公民館活動の中で文化活動・ 余暇活動がさらに充実	16
豊かさが青少年の心に 光と影を落とした時代、 時代は昭和から平成へ、 少子高齢化に拍車がかかる	19
21世紀を目前に控え、 物質経済の時代から心の時代へ	22
21世紀に向けてのメッセージ	24
	26
	28



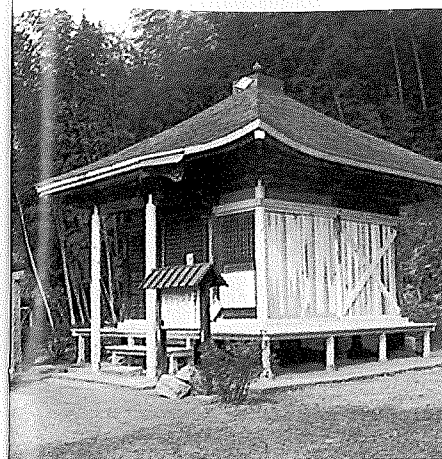
歴史とロマン
いっぱいのふるさと大内。

大内地区 史跡紹介

山根観音

氷上

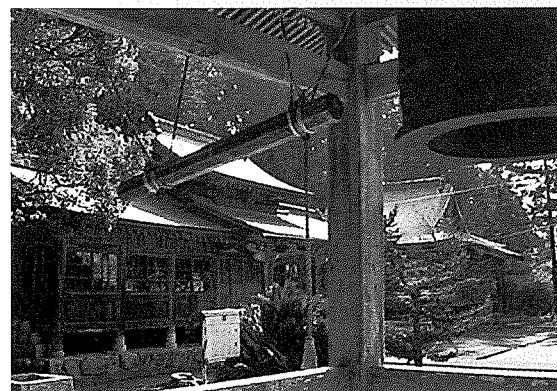
氷上の西谷下山根にあります。本尊の聖観音は、立像で藤原期の優秀な木造彫刻です。昭和30年1月に山口県指定の重要文化財となりました。本堂の南には、西谷から観音水という名水がこんこんと湧き出ています。また、後方の楠木の生木には、地藏菩薩が刻まれ木喰仏として有名です。



興隆寺

氷上

氷上にあり、山号は氷上山、本尊は釈迦如来で、天台宗のお寺です。西国第一の守護大名であった大内氏の氏寺です。寺伝によると琳聖太子が建立したといわれています。大内義隆が寄進した国指定の重要美術品の洪鐘があり参詣した人が自由につくことができます。



釈迦堂

氷上

妙見社横にあり、元禄8年に中興第2世弁海が中興堂を建立しました。現在では釈迦堂と呼ばれています。(中興とは、天文の国難で興隆寺が焼け、それ以降非常に衰えていたのを、行海が再興したことをいいます。)本尊は阿彌陀三尊で、左に大照公の尊牌、右に中興の行海の像が安置されています。



乗福寺

御堀



御堀の南側に向かって開かれた山麓にあります。山号は南明山で、臨済宗のお寺です。南禅寺派に属し、本尊は聖観音の座像で、脇土は不動尊と多聞天の立像です。本堂には琳聖太子像、大内重弘、弘世の位牌があります。また、境内には琳聖太子の供養塔と伝えられる塔や、上田風陽の墓もあります。秋の紅葉は見事です。

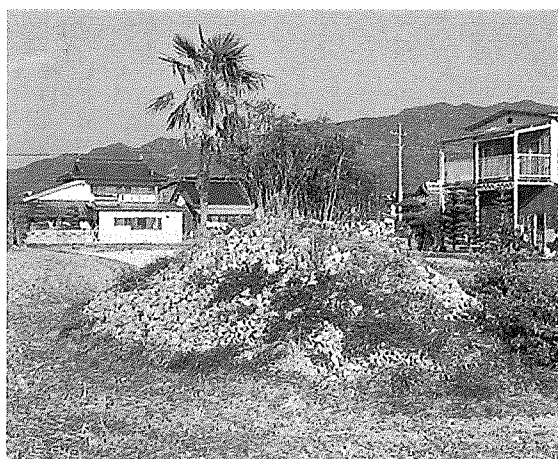
多聞寺跡

問田

問田・今山の8合目付近にあります。山号は医王山、院号を善通院といい、真言宗のお寺です。本尊は薬師如来で、日向の花獄、越後の出雲崎の米山寺とともに日本の三北面薬師といわれました。薬師堂の裏には、空海が眼を洗ったといわれる霊水が今もこんこんと岩穴から湧いています。薬師如来は現在、山口の神福寺にあります。

生森古墳

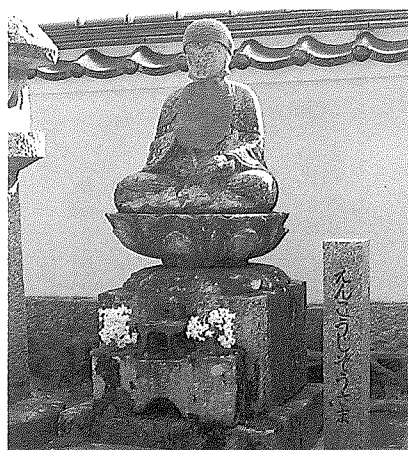
上矢田



えようと建てられたものです。今でも8月16日の夜には二人の青年の遺徳を偲んで盛大な盆踊りが一晩中行なわれます。

光厳寺

問田



長野八幡宮の参道脇にあります。江戸時代この地で過酷な年貢の取り立てがあり農民が苦しめられました。その時二人の青年が立ちあがり長野部落を救いましたが、青年達は処刑されてしまいました。この碑はその二人の青年のことを後の世にまで伝

二義少年の碑

宮ノ馬場

問田の中心の山裾にあります。山号は王泉山、浄土宗で本尊の阿彌陀仏は立像です。

腹帯地蔵

小野

小野の地蔵院の本尊で、昔から小野の地蔵さまといわれ、里人に親しまれてきました。俗に腹帯地蔵又は子安地蔵とも呼ばれ、遠近から婦女の安産のために多くの人が参詣します。地蔵尊は結跏趺座という座禅をしているような珍しい姿をしています。裏山の横穴から霊水が湧いていて、母乳の出ない人によくきくと伝えられています。

寛永年間に益田孫左衛門により創建され、山門にはえんこう地蔵があります。えんこう地蔵には伝説が残っています。昔、問田川に子供たちを川へ引つ張り込む悪いえんこう(かっぱ)がいました。このえんこうは馬を引き込もうとして頭をけられ、村人たちに捕まってしまう。村人たちは殺そうとしたが、しきりに命をいにするので、地蔵様を建て、地蔵様の尻が腐るまで出でばならぬぞと放してやりました。それ以来えんこうは姿を現さないといわれます。

問田武家屋敷跡

問田

益田氏がはなやかであった時代には、問田は城下町で、田町は文化の中心でした。道幅も現在より広く、道の片側には松並木があり、東の入口には木戸が設けられていました。今も、真つすぐな道と双方の家並みがよく残っていて、城下町の面影を偲ぶことができます。



仁平寺

菅内

菅内字河内にあり、山号は日吉山、天台宗のお寺です。本尊は釈迦如来で、仁平元年(1151)の創建といわれています。大内時代には大盛盛であったお寺で、「仁平寺本堂供養日記」には、舞楽舞踊が盛大に催され、特に当時まだ確立されていない狂言も演じられていたことが伝えられています。大内時代の文化がいかに盛んであったかがうかがえます。

ひよしじんじゃ 日吉神社

菅内

仁平元年（1151）大内家臣河野某、近江国比叡山より勧請しました。しかし、仁平寺本堂供養日記の記述などによれば、仁平寺の鎮守社とする意見があります。現在の神殿は宝永元年（1704）益田織部就高の造立です。

みほりじんじゃ 三保里神社

御堀

御堀の山裾にあり、祭神は応神天皇、仁徳天皇、大山咋神です。御堀村社八幡宮、氷山村社氷上神社、金成村社鏡山神社、御堀厳島神社の4社が合併して、明治42年6月24日、三保里神社になりました。例祭は11月11・12日で、拜殿には立派な絵馬がたくさん奉納されています。

しだり はちまんぐう 志多里八幡宮

小野

小野の地にあり、観応3年（1352）11月9日、大内家臣小野和泉守平弘兼が宇佐八幡宮より勧請し、建立されました。祭神は、応神天皇、神功皇后、仲哀天皇、市杵嶋姫命、多岐津姫命です。境内には紅葉が多く、秋の紅葉は見事です。

ながの はちまんぐう 長野八幡宮

宮ノ馬場

仁保地区に近い東山の山裾にあり、祭神

史跡

の多いお宮です。応神天皇、神功皇后、田心姫命、湍津姫命、大己貴命、小彦名命、市杵嶋姫命、天御中主命が祀ってあります。社伝によると、堀河天皇の寛治3年8月、長野長者平忠平が宇佐八幡宮から勧請したといわれています。例祭は10月15日です。

らくんじょうあと 郎君城跡

高芝

大内弘家は矢田太郎といわれ、正安2年（1300）に歿しました。郎君城とはこの矢田太郎の居館のことです。光円寺寺伝では、今の光円寺が矢田太郎の居館跡であると伝えられています。寺内にある宝篋印塔が矢田太郎の墓といわれています。しかし、現在地名として残っている良君城の地とは場所が異なっており、郎君城に関しては多くの不明な点があります。今後の研究に期待が寄せられています。

ひめやま 姫山

間田

大内と平川に境を接しています。その昔美しい姫に想を寄せた城主が、意に従わなかった姫を頂上の井戸に投げ込み、蛇責めにして殺したという伝説が残っています。頂上には皆の跡らしい遺構が数箇所残っていて、連郭式山城の様子がうかがえます。又一説にはのろしを上げた跡ともいわれています。今は、立派な登山道ができ、頂上まで登ることができます。

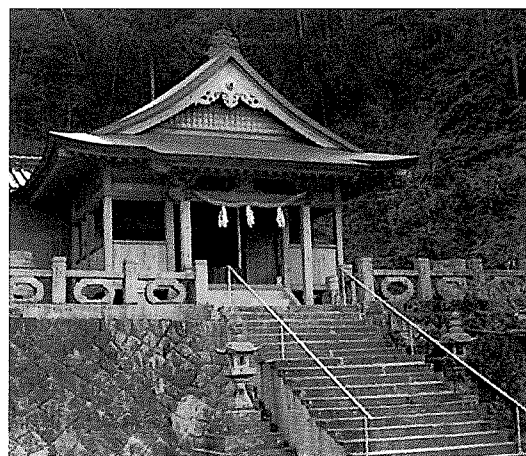
おおかこふん 大塚古墳

長野

長野の高台にある独立した墳丘で、まれに見る大円墳です。享保10年（1725）に発見され、石棺が出たので、その石で頂上に祠堂ができました。箱型の組み合わせ石棺でまわりに堀の跡があります。墳丘の径は30mあり、これほどの大円墳は山口県下にもあまり例がありません。この付近には、4基の円墳もあります。

さくらぎじんじゃ 櫻木神社

神田



鼻の地に移されました。その名の通り境内には桜の木が多く、春の花見の季節は見事です。

みょうけんしゃじょうぐうあと 妙見社上宮跡

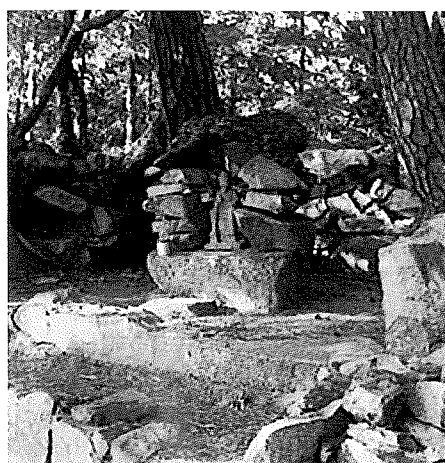
氷上

田山県農業学校の横道から山道に入り約500m登ったところにあります。今は建造物は残っていません。見晴らしが良く、大内氏の一族が星の観測をした所です。近くには、不動水という名水が湧いています。

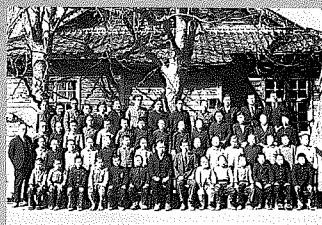
ひかみ こふん 氷上古墳

氷上

山根観音堂の裏山で、標高80mの馬の背状の丘陵の端にあります。全長28mの前方後円墳で、後円部には火難よけの行者様が祀っており、信仰を集めています。大内盆地で唯一の前方後円墳で、5世紀頃大内地方を支配した豪族の墓です。



大内地区と 大内公民館 50年の歩み



神田にあり、天照大神、伊弉諾神、天児屋根命、応神天皇、市杵嶋姫命の五神を祀っています。承平元年（931）に、大内長門守茂村により、今の古桜木の地に創建され、享保15年（1730）現在の矢田岩



歴 史 年 表

昭和20年

(3月) 東京大空襲、
(4月) 米軍沖縄上陸、(4月) 戦艦大和沈没、
(8月) 広島・長崎原爆投下、終戦、
(11月) 第一回宝くじ発売 (11月) プロ野球・大相撲再開、(11月) 餓死者続出、
(12月) 衆議院選挙法成立
▽映画／東海水滸伝、伊豆の娘たち

昭和21年

(1月) 天皇人間宣言、(1月) タバコのピースを日曜祭日だけ発売7円、(4月) 女性に参政権が認められた初の衆議院総選挙、
(8月) 警官のサーベル廃止、
(11月) 日本国憲法公布
▽映画／そよかぜ (主題歌リンゴの歌)

昭和22年

(4月) 3月に交付された新教育基本法による6・3・3・4制度実施、
(5月) 日本国憲法施行、(7月) NHK鐘の鳴る丘放送開始 (11月) 第1回共同募金、
(12月) 改正民法公布による家族制度改革で結婚・離婚の自由が認められる
▽映画／安城家の舞踏会

昭和23年

●大内村公民館設置

(5月) 美空ひばりデビュー、(7月) 優生保護法の公布により人工中絶などの条件を緩和、GHQの新聞雑誌の事前検閲が廃止され事後検閲となる、(8月) プロ野球で初ナイター、
(11月) 東京裁判で東条英機ら7人に死刑判決、
▽映画／酔いどれ天使、肉体の門

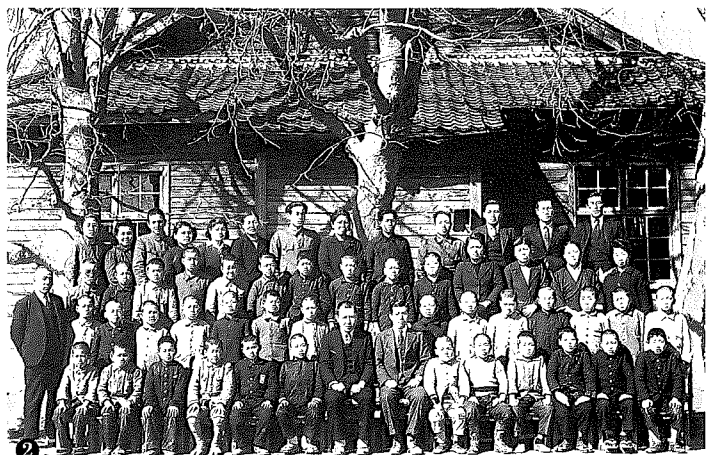
昭和24年

●大内村公民館条例施行

(1月) GHQ国旗掲揚許可、(4月) 1ドル360円の単一為替レート実施、(7月) マッカーサーが「日本は共産主義東進阻止の防壁」と言明、
(8月) 古橋広之進が全米水上選手権で1500m、800m、400mに世界新記録樹立、
(11月) 湯川秀樹京大教授ノーベル物理学賞受賞、(11月) プロ野球2リーグ制スタート、
(12月) お年五年賀葉書初めて発売
▽映画／青い山脈、悲しき口笛
▽流行語／あじゃばー



占領政策の影響を受けながら
スタートした公民館活動。



となりました。それを象徴するために3本のプラタナスが植えられたのです。

昭和23年 大内小学校卒業写真

(3本のプラタナス)

② 3本のプラタナスは大内小学校のシンボルでした。間田小学校、御堀小学校、双鯉(長野) 小学校、3つの小学校が明治25年(1892年)に統合されて、大内小学校

① 終戦の翌々年、進駐軍の駐留が続き、まだMPの姿がありました。当時は占領政策の中での公民館活動という一面があり、アメリカのフィルムを借りて映写会を開催していました。時折、ジープが来て、映写技師のライセンスを確認していました。残っている空撮も地形測量的なもので、占領政策の一環としての空撮写真であることを物語っています。

昭和22年 大内地区空撮(米軍機撮影)

終戦直後の激動期、大内公民館はその第一歩を踏み出しました。その初期段階は米軍の占領政策の影響を色濃く受けながら、初めての取り組みを手探りの中でのスタートでした。当時、東京小金井市で文部省主催の公民館設立に向けた集合教育が行われ「公民館の建物はいらない、公民館という精神さえあればよい」と言う文部省の指導のもとに、何とか公民館という名前だけ決めてスタートしたというあわたたしさでした。初めて指導を受け、体験するレクリエーション。その言葉にささ戸惑いを感じながら、「升瓶に柄杓で水を入れる競争」という終戦直後の時代を偲ばせるゲームがレクリエーションとして紹介されたといわれています。

歴 史 年 表

昭和25年

(1月) 聖徳太子の新千円札発行、(4月) マッカーサーが共産党中央委員を公職追放、報道・民間・公共企業で共産党関係者が解雇される。
(7月) 朝鮮戦争勃発、(7月) 国宝金閣寺焼失、
(11月) 胃カメラ完成、
(12月) 池田首相「貧乏人は麦を食え」発言
▽映画／黒澤監督「羅生門」
▽流行語／オオミステーク、レッドページ

昭和26年

●大内村公民館広報発刊
●大内村民運動会開催●産業祭開催
(1月) 社会党が平和三原則と再軍備反対を決議、(1月) NHKが第一回紅白歌合戦開催
出場者男女各7名、(7月) プロ野球第一回オールスター戦開催(9月) 民間放送開始、(11月) 厚生省が平均寿命・女64歳・男60歳と発表
▽映画／めし、白痴
▽流行語／老兵は死なず

昭和27年

●大内村青年連絡協議会発足
(1月) 韓国が漁業境界線の設定を宣言、
(4月) 日航木星号三原山に墜落37人死亡、
(4月) 日本の主権回復・日米安保条約発効
(4月) NHKラジオドラマ「君の名は」放送開始、
(9月) パチンコに連発台登場、
(12月) ボウリング場日本初登場
▽映画／チャップリンのライムライト、上海帰りのリル▽流行語／エッチ

昭和28年

●純潔教育について集いを開催
(2月) NHKがテレビ放送を開始、(3月) ソビエト独裁者スターリン死去、(8月) 民放初のテレビ(日本テレビ)本放送開始、(10月) 東京に赤色公衆電話初登場、(12月) 奄美諸島返還、
(12月) NHK紅白歌合戦初の公開放送へ大晦日番組となる
▽映画／ひめゆりの塔、東京物語、ローマの休日、シェーン▽流行語／さいざんす、8頭身

昭和29年

●農繁期託児所開始
(1月) 行方不明だった天才画家山下清発見
(2月) マリリンモンロー来日、(3月) ビキニ環礁水爆実験で第5福竜丸被爆、(6月) 自衛隊法公布、(9月) 青函連絡船転覆死者不明者1100人以上、(9月) 野球けん流行
▽映画／ゴジラ、七人の侍、二十四の瞳
▽流行語／ロマンスグレー



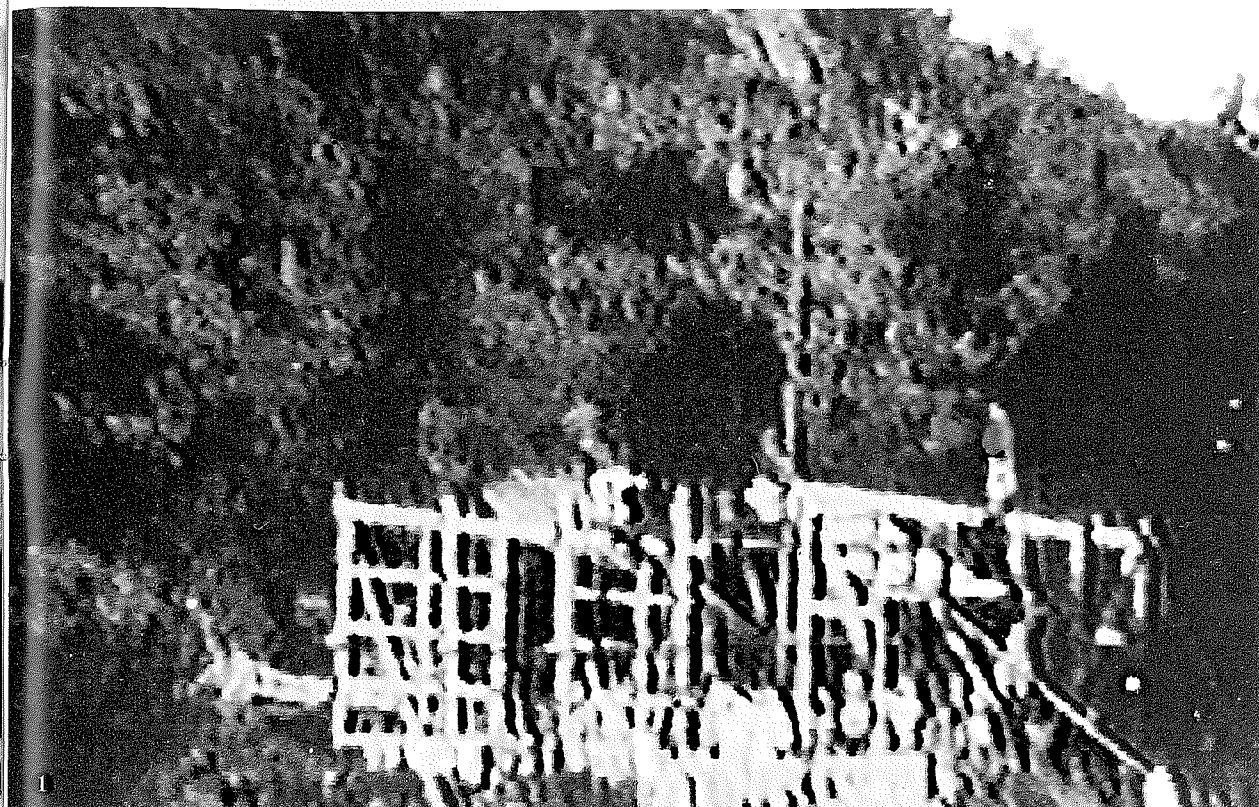
昭和26年 運営審議会

②当時、公民館長は民間から推薦され選出されてきました。運営審議会で推薦してお願いに行つて、教育委員会で承認して決まっていた。その後、教育委員会が館長を決める官選になったのは昭和53年度からです。

昭和26年 村役場前集合写真

③現在の大内公民館の体育館となっているのが、大内村時代の議事堂です。写真の左側後ろに写っているものです。写真の右側背景は当時の大内村役場正面玄関です。映っているのは当時の職員さんです。

大内公民館の新築と本格的な公民館活動の開始。



大内地区と大内公民館50年の歩み

昭和26年 各町内に公民館の建設始まる

①大内小学校の旧校舎を解体したもので、各町内が奉仕作業で解体。各町内が部分的に持ち帰って公民館に活用するために再建しました。映像は川向部落(現在の宮島町)に建てられた公民館の建築作業の様子です。その他に、小鯖地区、下千坊部落、上千坊部落など各所に再建され、宮島町などは現存しています。

昭和20年代後半は米軍の占領政策の影響を受けながらも、公民館活動が本格的に動き出した時代です。
日本全体を見ても昭和27年には主権を回復し、戦後復興の道を本格的に歩みだした時代です。
世界に目を転じれば、東西冷戦の構図がハッキリと表れ、ビキニ環礁の水爆実験など軍拡の波が起っていました。
そのような時代背景の中、公民館活動では広報の発刊が始まり、産業祭や農繁期の託児所開設など生活水準の改善と向上を目指した活動が中心となっていました。
また、この時代の文化的な出来事としてはアメリカでも日本でも映画産業が輝きを放ち始め、「ローマの休日」や黒澤監督の「七人の侍」などの名作が生まれました。
このような文化振興はそれ以降の公民館活動にも影響を与えています。

歴史年表

昭和30年

●三村（仁保・小鯖・大内）合併
 (4月) アインシュタイン死去、(6月) 俳優ジェームスディーン死去、(6月) 1円アルミ貨幣発行、
 (8月) ソニーがトランジスタラジオ発売、
 (10月) 国勢調査人口8927万5529人、
 (10月) 新潟市大火1000戸焼失、
 (11月) 自由民主党結成、(12月) 原子力の平和利用を定めた原子力基本法公布、
 (12月) 平均寿命・女68歳・男64歳
 ▽映画／浮き雲、夫婦善哉
 ▽流行語／頼りにしてまっせー

昭和31年

●農業技術を中心とした夏期講座開設
 ●管内部落で生活改善結婚式
 (1月) ボディービルブーム、(5月) 日本登山隊ヒマラヤのマナスル初登頂、(5月) 熊本県で水俣病発生、売春防止法公布 (7月) 経済企画庁が経済白書の中で「もはや戦後ではない」と発表、(11月) 第一次南極観測船「宗谷」出港、
 (12月) 日本が国連に加盟
 ▽映画／ビルマの竖琴、太陽の季節
 ▽流行語／ドライ・ウエット

昭和32年

●川向子供会誕生
 (1月) 赤銅鈴之助ラジオ放送開始、(1月) 南極観測隊昭和基地設置、(7月) 初のフィルタ一煙草ホープ発売、(8月) 日本電気工業会が家電普及状況を洗濯機が10世帯に一台、ラジオが30世帯に一台と発表、(8月) 東海村で日本原子力研究所が原子炉実験に成功、(10月) 5千円札発行、(11月) 100円硬貨発行、(12月) ソビエトが世界初の人工衛星スプートニクの打ち上げに成功
 ▽映画／喜びも悲しみも幾年月
 ▽流行語／ケセラセラ、グラマー

昭和33年

●大内村史刊行
 ●大内青年団演劇コンクールで1位となり東京大会出場 ●しゅうとめ学級開設
 (1月) アメリカが人工衛星の打ち上げに成功、
 (2月) ラジオ東京テレビで月光仮面放送開始、
 (3月) 関門トンネル開通、(6月) 阿蘇山大爆発死者12名、(6月) 即席ラーメン発売35円、(6月) 缶ビール発売75円、(10月) フラフープ流行、
 (12月) 東京タワー完工、(12月) アメリカTI社がICを開発し電子機器が飛躍的に小型化される
 ▽映画／嵐を呼ぶ男、無法松の一生
 ▽テレビ／月光仮面
 ▽流行語／ながら族、いやーな感じ



昭和31年 管内部落での生活改善結婚式
 ④ 分館活動としての生活改善結婚式です。分館活動としてはこのほかに、農繁期の共同炊事なども公民館が場所を提供して行われていました。当時は炊事などを行う設備が整えられていました。

昭和31年 大内公民館・大内小学校理科教室
 ⑤ 大内小学校の校舎新築に伴って利用されなくなった大内小学校理科教室を大内公民館として利用していました。写真は執務風景ですが、この当時は事務を行う程度のスペースしかなく、公民館活動は各地区の分館に出向いて活動を行っていました。



昭和30年代初期は三村（仁保・小鯖・大内）合併が始まって、公民館活動は生活向上を目指したことから文化活動へと広がりを見せ始めました。
 日本全体も高度経済成長期を迎えるようとしており、水俣病などが表面化したことから、公害が社会問題となるようになってきました。

昭和30年 大内小学校卒業写真
 ① 昭和30年の大内小学校卒業写真です。当時の校舎は既に立て替えられ現存していません。

昭和30年 青年学級スキー
 ② 阿東町の船平山スキー場での青年学級です。社会教育の一環として設けられていた青年学級では農業科、科学科、家政科、などがあつて青年を対象として社会教育がおこなわれていました。

歴史年表

昭和34年

●お母さん学級開設

(1月) 南極観測隊が1年前に残した太郎・次郎の2匹の犬を発見、(1月) キューバ革命成功、(1月) 尺貫法が廃止されメートル法が採用される、(4月) 皇太子明仁親王と美智子様ご成婚、(4月) 安保闘争始まる、(9月) 伊勢湾台風で死者行方不明者5000人以上の被害が出る、(9月) 労働組合・全学連が安保闘争で国会乱入、(12月) 第一回レコード大賞・水原弘の黒い花びら
▽映画／ギターを持った渡り鳥
▽流行語／カミナリ族、がめつい

昭和35年

●大内町体育協会発足

(1月) 日米新安全保障条約調印、(5月) 自民党が日米新安全保障条約を単独で強行可決、(5月) チリ地震による津波で死者行方不明者134人の被害がでる。(6月) 初のロングサイズ煙草ハイライト発売、(6月) タッコちゃんブーム、(9月) テレビカラー放送開始、(10月) 社会党浅沼委員長が演説中に刺殺される、(10月) 国勢調査で人口9341万8501人
▽映画／新吾十番勝負
▽流行語／家付きカー付きババア抜き

昭和36年

●大内女子学園廃止●公民館が女子学園跡に移転●全地球技大会始まる

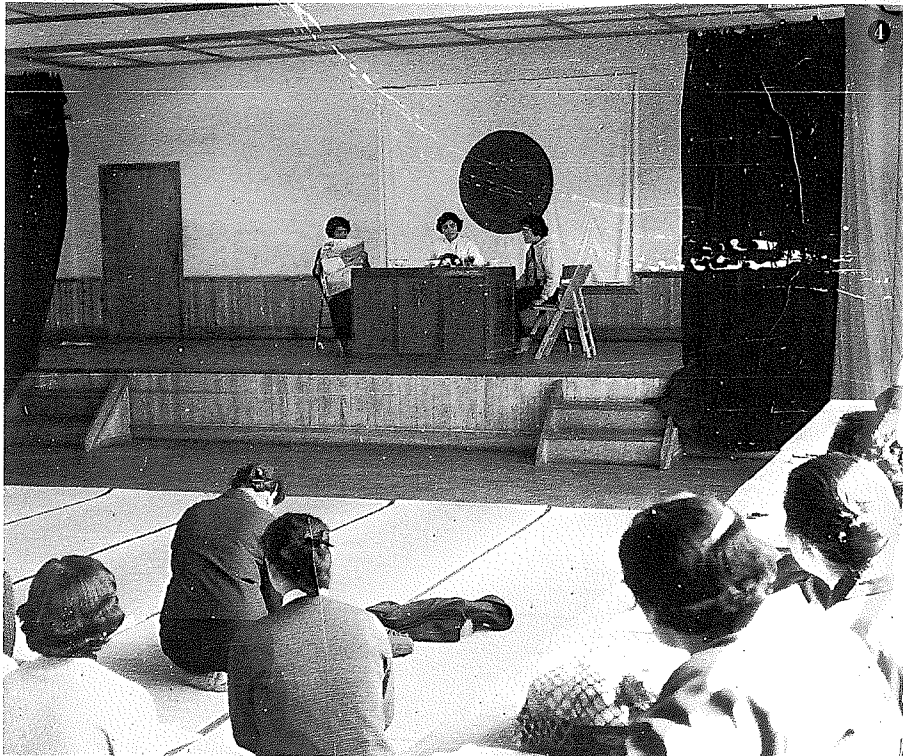
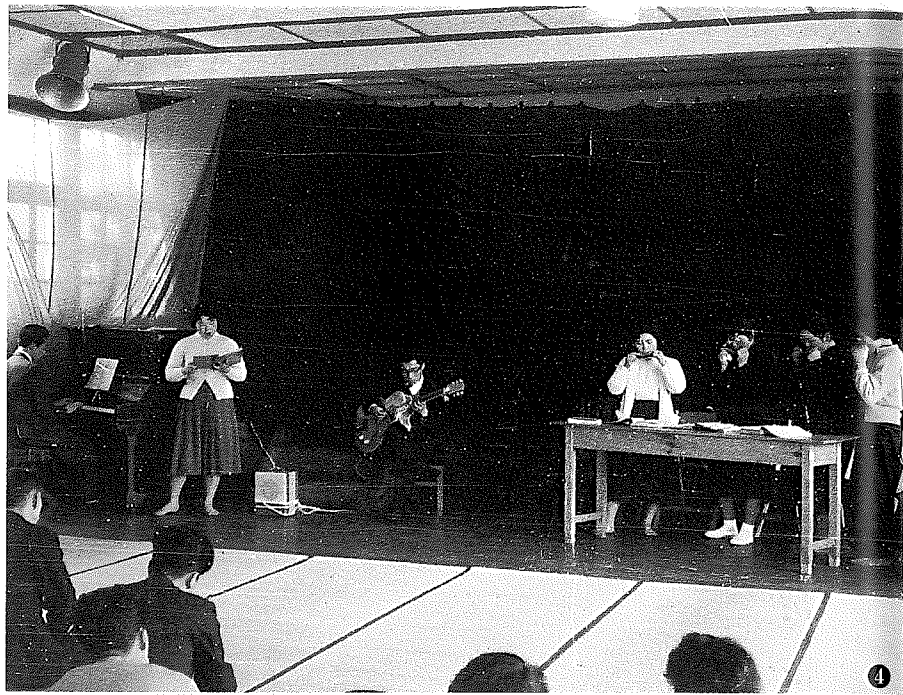
(1月) アメリカでケネディ大統領誕生、(1月) アメリカで大陸間弾道弾の発射実験成功、(1月) 日光薬師寺焼失、(4月) ソビエトがヴォストークにより世界初の有人宇宙飛行に成功、(6月) 農業生産の拡大を目指して農業基本法公布
▽映画／モスラ、用心棒、釈迦マテレビ、七人の刑事、シャボン玉ホリデー
▽流行語／巨人・大鵬・卵焼き

昭和37年

●大内地区子ども会育成連絡協議会発足

●家政学級・家計簿学級開設

(2月) 東京の人口が1千万人突破、(4月) マイクロ型小型テレビが6万5千円で発売され予約が殺到、(4月) サリドマイド系睡眠剤販売禁止、(8月) アメリカでマリリンモンロー死去、(9月) 東海村日本原子力研究所で日本初の大規模原子炉に火がともる、(9月) 国鉄金田正一投手3514奪三振で世界記録樹立、(10月) アメリカでケネディ大統領キューバ危機を回避、(12月) 国産初の旅客機YS11完成披露式
▽映画／キューボラのある街、椿三十郎
▽テレビ／てなもんや三度笠



昭和32年 女子青年家庭学級
③ 女子青年家庭学級では調理実習などを中心とした活動が行われていました。

昭和33年 青年団演劇
④ 青年団活動として、演劇や芸能活動が盛んに行われていました。現代のバンドブームの先駆けのような活動です。また、大内青年団は県の演劇コンクールで一位となり、東京大会へ出場した輝かしい功績があります。

昭和31年 青年団員集合写真
① 青年団員の集合写真です。背景に映っているのは大内村時代に議事堂として建てられたもので、写真撮影当時は教育委員会、現在は大内公民館の体育館として使われています。

昭和32年 農業技術を主体として
② 新しい農業技術の普及を公民館活動の一環として行っていました。地域全体に農業技術知識の普及が求められていた時代でした。

大内地区と
大内公民館
50年の歩み

歴史年表

昭和38年

- 山口市に合併、山口市大内公民館となる
- 大内体育協会発足
- (2月) 熊本大学が水俣病の原因を発表、
- (3月) 吉展ちゃん誘拐事件発生、(5月) 大鵬史上初の6場所連続優勝、(6月) ソビエトで女性が世界初の宇宙飛行に成功、(10月) 山口国体開催 (11月) アメリカでケネディ大統領暗殺、
- (11月) 偽札横行から伊藤博文新千円札発行
- (11月) 三池炭坑構内大爆発死者458人
- (12月) レスラーカ道山刺殺
- ▽映画／天国と地獄、下町の太陽
- ▽テレビ／鉄腕アトム、エイトマン
- ▽流行語／カワイコちゃん、シェー

昭和39年

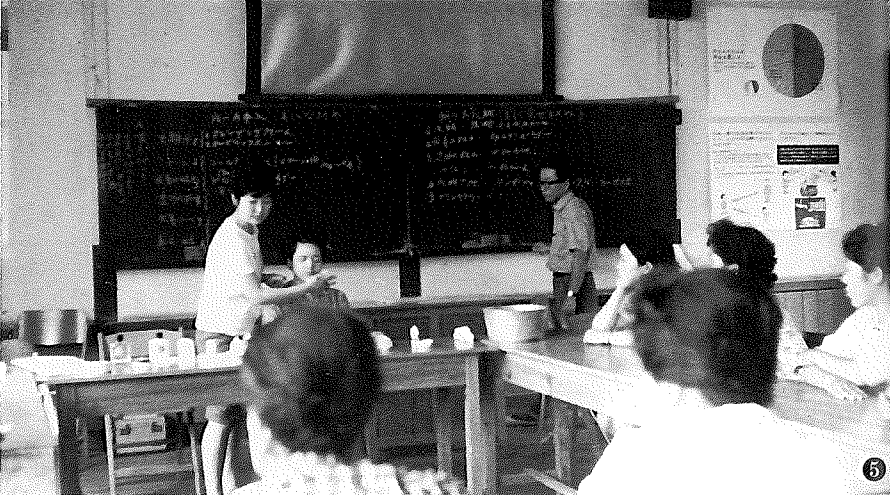
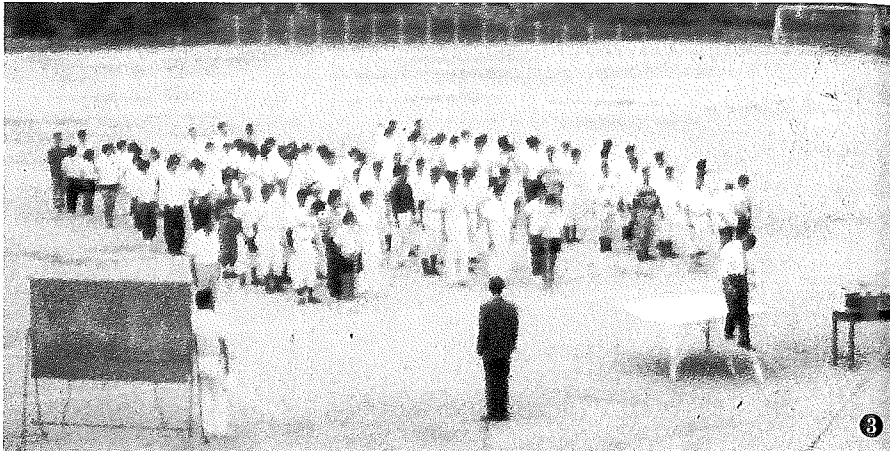
- (3月) 初の電卓発売1台50万円、
- (4月) 海外旅行の自由化が始まる、
- (6月) 新潟大地震、
- (9月) 浜松町・羽田間のモノレール開通、
- (10月) アジアで初めてのオリンピックを東京で開催、(10月) 東海道新幹線開業
- ▽映画／愛と死を見つめて
- ▽テレビ／ひょっこりひょうたん島
- ▽流行語／ウルトラC、金の卵

方言

昭和30年代から普及が始まったラジオやテレビにより、地方都市でも標準語が使われるようになり、地域の暮らしに育まれてきた「方言」は次第に使われなくなりました。

ここでは、かつて大内地区でよく使われていた「方言」の中から代表的なものを紹介します。

タエガタイ	気の毒の意
ホートクナイ	汚く不潔の意
キャーガワルイ	気持ちが悪い
ハナワル	始まる
ヘーカラ	それから
メーメー	各自それぞれ
ノンタ	相手に呼びかけと同意の求め
ヨッポド	よほど
アンマリ	あまり
サムーテヤレン	寒くて困る
ノーデ	飲んで
クータ	食った
オモータ	思った
ユータ	言った
ヌータ	縫った



昭和37年 家政学級修了式

④ 女子青年学級から女子学園に発展した活動が昭和36年に廃止されたことから、昭和37年には婦人を対象とした家政学級や家計簿学級が開設されました。写真は家政学級修了式の様子を8ミリで撮影したものです。

昭和37年 家政学級・メイクアップ教室

⑤ 家政学級では、メイクアップ教室なども行われていました。また、調理実習なども行われていました。



昭和36年 大内小学校教職員写真

① この写真は昭和36年当時の大内小学校教職員写真です。場所は大内小学校新築により解体された大内小学校旧校舎玄関前の築山のあったところで、足下の石が築山があったことを偲ばせています。

昭和36年 大内小学校体育館竣工式

② 大内小学校体育館竣工式の模様です。

昭和36年 全町球技大会

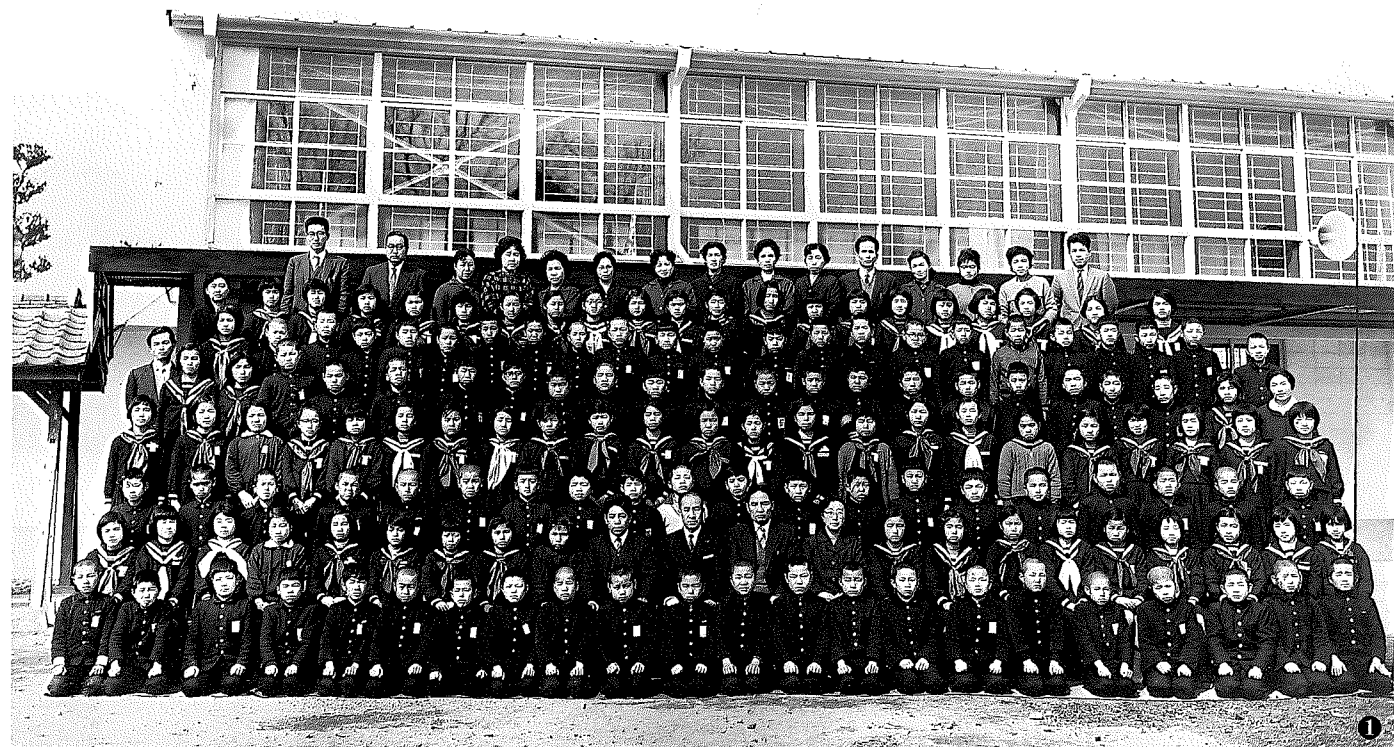
③ 当時、大内町体育協会が昭和35年に発足し、排球（バレーボール）、野球、卓球などの球技大会が盛んに行われていました。写真は昭和36年の全町球技大会の様子を8ミリで撮影したものです。

昭和30年代後半は東京オリンピックを機にテレビが急速に普及し、また、東海道新幹線も開業しました。まさに高度経済成長期の到来です。

山口県でも国体が開催されたことを機に、国道の整備が進められ、大内地区の人口も急速に増え始めました。

そのような中、公民館活動では、これまで盛んだった青年団の演劇などに加えて、全町球技大会などのスポーツ行事が盛んに行われるようになりました。

公民館活動の中で文化活動・余暇活動が さらに充実した時代。



昭和37年 大内小学校卒業写真

① 昭和37年3月に撮影された大内小学校卒業写真です。背景の体育館は現在も大内小学校体育館として利用されています。

昭和37年 青年団総会

② 昭和37年頃の青年団総会の様子です。青年団は社会教育活動の一環として結成されたもので、当時の青年団は地域の様々な行事をボランティアとして支えていました。

昭和38年 山口市との合併式典

③ 昭和38年山口市と大内町が合併しました。写真は合併式典の様子で、会場は現在も使われている大内中学校の体育館です。

大内地区と 大内公民館 50年の歩み

高度経済成長だった中の日本では、その豊かさから「昭和元禄」という流行語が生まれるほど文化が華やかに花開いた時代でした。エレキギターやモンキーダンスなど、若者の中でも今までにない新しい文化が生まれ、世代間のギャップもクローズアップされた時代です。大内地区では小学校に「プール」ができました。

昭和43年 大内小学校空撮・人文字

① 大内小学校の空撮です。人文字が目立ちますが、写真手前の木造校舎は旧大内中学校のもので、この当時は小学校の音楽室や公民館活動としては家政学級、家計簿学級などの会場として利用されていました。

昭和44年 大内小学校卒業写真
プラタナス3本

② 昭和44年当時の大内小学校卒業写真です。三つの小学校が統合された象徴のプラタナスは残っていますが、プラタナスの後ろに建っていた講堂は既に解体されています。プラタナスはこの翌年の台風でそのうちの一本が折れたので、三本のプラタナスが映った最期の写真となりました。



歴 史 年 表

昭和40年

- 大内地区子ども会球技大会始まる
- コーラス学級、民謡学級等開設
- (1月) 共稼ぎによる鍵っ子が問題となる、
- (4月) 高校進学率が70%を超える、(4月) 厚生省が平均寿命女72.9歳・男67.7歳と発表し10年後には長寿国になると予想、(11月) プロ野球第1回ドラフト会議開催
- ▽映画／(斜陽の時代を迎える)
- ▽テレビ／愛染かつら、おばけのQ太郎

昭和41年

- (2月) 全日空機墜落133人死亡、(3月) ミニスカート流行、(6月) ビートルズ来日、(8月) グループサウンズ時代到来▽テレビ／ウルトラマン

昭和42年

- 住まい方教室開設
- (5月) 経済企画庁が一戸当たりの国民所得を28万4417円と発表、(8月) フーテン族新宿駅前の芝生を占拠▽テレビ／意地悪ばあさん、桃太郎侍▽流行語／蒸発、ボイン、カッコイイ

昭和43年

- (3月) 東大学生運動激化安田講堂占拠、(6月) 小笠原諸島返還、(8月) 日本初の心臓移植手術行われる、(10月) 川端康成ノーベル文学賞受賞、(12月) 3億円強奪事件発生▽テレビ／巨人の星▽流行語／昭和元禄、イザナギ景気

昭和44年

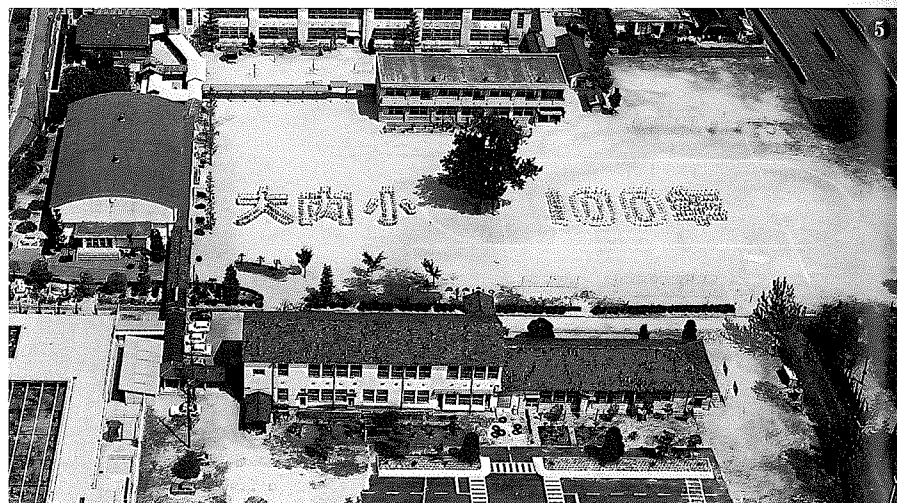
- (7月) アメリカのアポロ11号月面着陸、(10月) 交通違反点数制度スタート、▽映画、男はつらいよシリーズスタート▽テレビ／8時だよ全員集合、水戸黄門▽流行語／オー・モーレツ

昭和45年

- 役場議事堂・研修館跡に公民館を移転
- 同和教育始まる (2月) 日本初の人工衛星おおすみ打ち上げに成功、(3月) 大阪万国博覧会開幕、(3月) よど号ハイジャック事件発生、(5月) 杉浦輝夫・植村直己エベレスト日本人初登頂▽テレビ／時間ですよ、大岡越前

昭和46年

- 菊づくり講習会●若妻学級開設 (4月) ボウリングブーム到来、(5月) 強姦殺人犯大久保清逮捕、(7月) マクドナルド日本上陸、(9月) カップヌードル発売▽テレビ／仮面ライダー▽流行語／ヘンシーン、ニアミス



昭和45年 大内小学校プール竣工式

①昭和45年、大内小学校にプールが出来ました。写真はその竣工式の模様です。プールはこれまで公民館活動の拠点となっていた旧大内中学校の校舎を解体したあとに建設されました。

昭和48年 大内小学校文集

②大内小学校を象徴するプラタナスは卒業文集の名称に使われていました。現在は、大内小学校のPTA広報紙の名称として使われています。

昭和48年 大内小学校開校100年碑

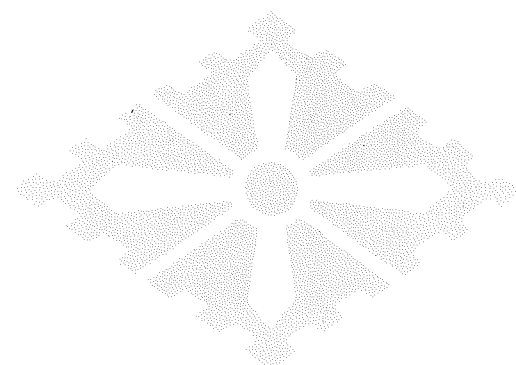
③昭和48年、大内小学校は開校100年を迎え、記念碑が設置されました。碑文の文字「敬愛」は大内公民館の運営審議会会長を永年勤められ、公民館活動を中心に支えられた明山誠演さんの書です。

昭和49年 大内地区空撮

④昭和49年当時の大内地区空撮です。当時建設が進められていた中国縦貫自動車道の山口インターチェンジが映っています。

昭和49年 大内小学校開校100年記念空撮・人文字

⑤昭和48年に開校100年を迎えた大内小学校で、開校100年記念の空撮が行われました。



歴史年表

昭和47年

●大内公民館便り復刊(2月)元日本兵横井庄一さん帰国、(2月)札幌冬季オリンピック開幕、(5月)沖縄返還、(9月)中国国交回復、(11月)上野動物園でパンダ公開マテレビ／太陽にほえろ▽流行語／日本列島改造

昭和48年

(3月)小説日本沈没発売、(5月)競馬界でハイセイコー10連勝、(10月)第一次オイルショック到来、(11月)熊本太陽デパート大火災
マテレビ／子連れ狼▽流行語／ちょっとだけよ

昭和49年

●風上げ大会開催●俳句の会発足
(3月)元日本軍陸軍少尉小野田寛郎さん帰国、(3月)超能力者ユリゲラーブーム、(10月)長島茂雄引退マテレビ／宇宙戦艦ヤマト、赤い迷路

昭和50年

●第1回ロードレース開催●お父さんの会発足●フリー球技大会始まる●青年学級復活●バレエ・社交ダンス教室ほかを開設
(9月)天皇皇后訪米
▽映画／ジョーズマテレビ／Gメン75

昭和51年

●婦人会針供養始まる●大内まつり始まる●仲人講座始まる●俳画教室ほか開設
(2月)おかげたいやきくんヒット、(7月)ロッキード事件で田中角栄前首相逮捕、(10月)巨人軍の王選手ホームラン世界記録樹立

昭和52年

●七草がゆの会開催●子ども会キャンプ始まる(9月)日航機ハイジャック
▽映画／宇宙戦艦ヤマト

昭和53年

●大内地区スポーツ災害共済発足●青年仲間づくり教室開設(5月)成田空港開港
マテレビ／銀河鉄道999

昭和54年

●大内地区公民館活動推進委員会設置
(5月)英国初の女性首相にサッチャーさん

昭和55年

(4月)漫オブーム起こる(5月)モスクワオリンピックに不参加決定、(8月)静岡駅地下鉄ガス爆発事故200人負傷、(11月)山口百恵引退



昭和59年 青少年健全育成推進大会
昭和58年に発足した大内地区青少年健全育成協議会が、山口市からのモデル地区の指定を受けて、山口市初の青少年健全育成推進大会を昭和59年11月17日に行いました。大内地区青少年健全育成協議会は、現在も活発に活動しています。

昭和59年 ピアノ開き
混声合唱団「青い鳥」
大内公民館にピアノがやってきました。写真は混声合唱団「青い鳥」の皆さんです。

昭和59年 子ども会フェスティバル
子ども会が主催する子供フェスティバルです。現在でも子ども会の納涼フェスティバルとして毎年8月の夏休み中に開催されています。

昭和59年 親子教室
写真は昭和60年の親子教室の様式です。親子教室は昭和58年に学級講座の一つとして開設され、工作教室やレクリエーションなどが行われていました。

昭和58年 親子教室
写真は昭和60年の親子教室の様式です。親子教室は昭和58年に学級講座の一つとして開設され、工作教室やレクリエーションなどが行われていました。

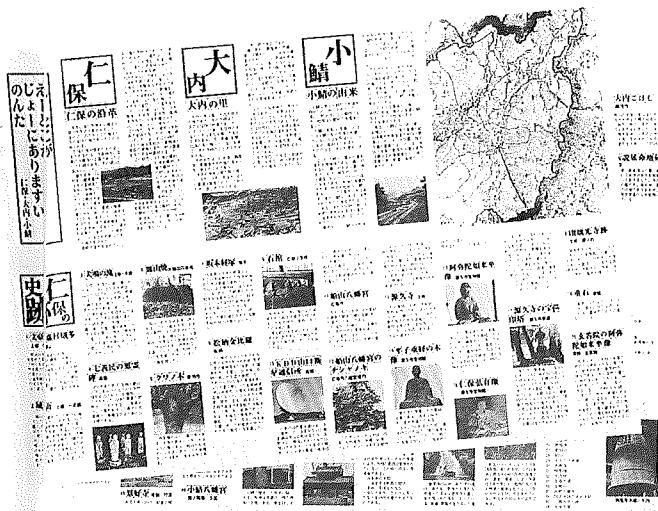
昭和57年 大内公民館竣工式
第6回大内まつり
昭和57年、現在の大内公民館が建てられ、竣工式に合わせて第6回大内まつりが行われました。

昭和53年 青年仲間づくり教室
社会教育活動の一環として、青年仲間づくり教室が行われ、史跡紹介リーフレットを作成しました。

昭和53年 大内まつり
昭和53年の大内まつりです。大内まつりは当初公民館活動をされる方々の発表の場として始まり、現在では公民館が主催する最も大きな行事として平成11年に第22回の大内まつりを迎えています。写真は昭和53年4月25日に防長新聞に掲載された記事です。

昭和52年 大内地区婦人会針供養
昭和52年当時行われていた、大内地区婦人会の和裁教室が主催した針供養の様式です。写真は昭和52年2月9日に中国新聞に掲載された記事です。和裁教室は公民館を会場として現在も活動を続けています。

昭和52年 大内地区青少年健全育成協議会
時代は物質的な豊かさを得ましたが、青少年非行が急増しました。大内地区でも昭和58年に大内地区青少年健全育成協議会を結成しました。



昭和52年 大内地区婦人会針供養
昭和52年当時行われていた、大内地区婦人会の和裁教室が主催した針供養の様式です。写真は昭和52年2月9日に中国新聞に掲載された記事です。和裁教室は公民館を会場として現在も活動を続けています。

昭和52年 大内地区青少年健全育成協議会
時代は物質的な豊かさを得ましたが、青少年非行が急増しました。大内地区でも昭和58年に大内地区青少年健全育成協議会を結成しました。

豊かさが青少年の心に 光と影を落とした時代。

歴史年表

昭和56年
 (3月) 校内暴力激化、(6月) 東京で覚醒剤常用者が通り魔殺人、(9月) 暴走族スタイルのなめ猫がブームに
 ▽テレビ／Dr.スランプ、北の国から

昭和57年
 ●山口市農協大内支所跡に現在の新公民館完成 (1月) ホテルニュージャパン失火33人死亡、(2月) 羽田空港沖日航機逆噴射墜落

昭和58年
 ●大内地区青少年健全育成協議会を結成 (4月) NHKおしんスタート、(4月) 東京ディズニーランドオープン、(5月) 日本海中部地震104人死亡、(9月) 大韓航空機撃墜事件発生

昭和59年
 ●山口市青少年健全育成モデル地区の指定を受ける●子ども会納涼フェスティバル始まる●山口市初の青少年健全育成推進大会開催 (6月) 日本世界一の長寿国に、(10月) グリコ森永事件発生、(11月) 1万円福沢諭吉ほか新札発行
 ▽テレビ／スチュワーズ物語

昭和60年
 (4月) NTTと、JTが発足、(8月) 日航ジャンボ機墜落歌手の坂本九さんほか520人が死亡、(11月) 阪神タイガース初優勝

昭和61年
 ●社会教育指導員の配置
 (5月) イギリスのチャールズ皇太子とダイアナ妃来日、(11月) 三原山噴火
 ▽テレビ／男女7人夏物語▽流行語／プッソ

昭和62年
 (3月) 南極捕鯨終了、(4月) JRスタート
 (6月) 地上げ屋が新宿のクリーニング屋にダンブで突入、(10月) ブラックマンデーニューヨーク株式大暴落▽テレビ／あぶないデカ、独眼流正宗▽流行語／マルサ、朝シャン

昭和63年
 (3月) JR津軽海峡線開通、(3月) 東京ドーム完工、(4月) 瀬戸大橋開通、
 ▽テレビ／武田信玄、抱きしめたい
 ▽流行語／オバタリアン



昭和62年 婦人会活動
 ④ 昭和62年の婦人会総会の模様です。

昭和62年 体育祭
 ③ 昭和62年の体育祭の様子です。体育祭は大内地区の体育協会が主催し、現在まで毎年行われています。

昭和62年 体育祭

昭和61年 輪飾り・風づくり
 ② 昭和61年の年末に行われている輪飾りづくりの様子です。子ども会主催で現在も続けられています。

昭和61年 輪飾り・風づくり

昭和60年 草刈り
 ① 昭和60年に大内地区青少年健全育成協議会が行っている草刈りの奉仕作業の様子です。草を刈ったあとにはコスモスが植えられました。

昭和60年 草刈り

時代は豊かでありながらも、高度経済成長期からバブル崩壊後の低成長時代へ向かっています。
 また、社会的に見ると少子高齢化問題が大きくクローズアップされ始めます。
 大内地区でも少子高齢化と人口増加の中、公民館活動にも時代の特徴が色濃く出始め、3世代の交流をめざした行事などが盛んに行われました。

時代は昭和から平成へ、少子高齢化に拍車がかかる。

歴史年表

平成元年

●大内地区さとづくりまちづくり推進協議会の設置

(1月)昭和天皇崩御・新元号を平成とした
(4月)消費税が導入される、(6月)戦後歌謡界の女王「美空ひばり」死去、(6月)中国で天安門事件発生、(11月)ベルリンの壁が崩壊

平成2年

●さとづくりまちづくり事業の実施

(6月)厚生省が1989年の人口動態統計報告で女性が一生涯に生む子どもの数の指標である合計特殊出生率が史上最低の1.57と発表、
(6月)湾岸戦争勃発

平成3年

(1月)湾岸戦争多国籍軍に自衛隊輸送機の派遣を決定、(4月)海上自衛隊の掃海艇部隊が湾岸戦争の機雷除去のためペルシャ湾に出航
(6月)雲仙普賢岳火砕流発生死者不明者43名

平成4年

(7月)第二次大戦中の従軍慰安婦問題に政府の関与を認める、(9月)日本人宇宙飛行士毛利衛をのせたスペースシャトルエンデバー打ち上げ

平成5年

●大内地区人権学習推進協議会を結成
●第1回大内地区じんけん学習まちづくり大会開催(5月)Jリーグ開幕、(6月)皇太子ご成婚、(7月)第40回総選挙で自民党が大敗し55年体制が崩壊、(8月)細川連立内閣発足

平成6年

●学校週5日制推進事業の受託始まる

平成7年

(1月)阪神大震災死者5502人

平成8年

(6月)O(オー)157大量感染

平成9年

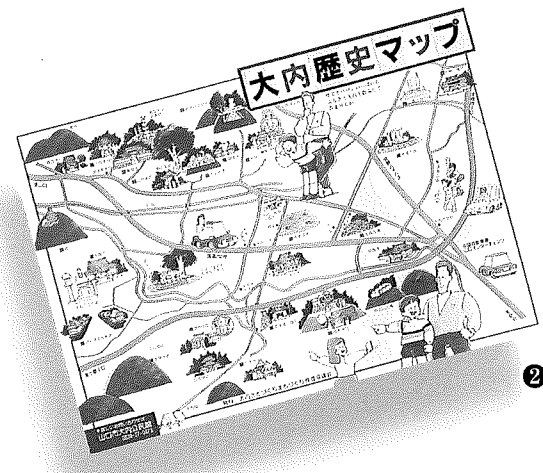
(4月)消費税5%スタート

平成10年

(2月)長野五輪開催、日本「金」5個

平成11年

(9月)JR下関駅で通り魔殺人3人死亡



④平成6年の大内まつりの様子です。

平成6年 大内まつり

③平成3年に撮影された、大内地区空撮です。大内中学校の皆さんの人文字が見事です。

平成3年 大内地区空撮

②まちづくり事業の一環として制作された大内歴史マップです。

平成2年 まちづくり事業 (大内歴史マップ)

①平成2年に行われた文化講演会の模様です。さとづくり・まちづくり事業の一環として開催されました。

平成2年 まちづくり事業 (文化講演会)

人類の文明が残した地球環境問題がクローズアップされる一方で、心の時代の到来が期待されます。
高齢化の進展の中で、安心して老後を過ごせるまちづくり。また、子供達が健やかに育まれるまちづくりが望まれます。
そのような中、公民館活動も薄れつつある地域コミュニティーの絆をつなぐ、さとづくりまちづくり事業などに積極的に取り組んでいます。

21世紀を目前に控え、物質経済の時代から心の時代へ。

大内小学校 山田 丈徳

ぼくの二十一世紀に向けてのメッセージ、それは「環境を守ろう」ということです。

ぼくの家の近くに仁保川があります。環境学習の授業で水質を調べたところ、川底の石から汚れた水の指標であるヒラタドムシが観察されました。事実、川にはゴミがういていました。ぼくは、少しがっかりしました。

どうすればゴミがなくなるか考えた結果、こんなアイデアを思いつきました。

- 1 ゴミは持って帰る。
- 2 ものを捨てない。
- 3 リサイクルにきちんと取り組む。

仁保川は榎野川となり、水は山口市民の生活水となります。身近な河川の環境を守ることが、自分の生活を守ることに繋がります。

森林についても同じことが言えます。山口市には多くの森林があります。でも、住宅地等の開発により、だんだん減っていることも事実です。社会科の学習で、森林には次のような働きがあることを学びました。

- 1 水を蓄える。
 - 2 山崩れを防ぐ。
 - 3 生物のすみかとなる。
 - 4 人々の憩いの場となる。
- 木をこのまま残り続けたいという気持ちでしようか。木がなければ、鳥たちは枝を集めて巣を作ることが出来ません。えさとなる木の葉もなくなります。鳥が住めない環境に、人間が果たして住むことが出来るのでしょうか。
- 仁保川の上流には「水源かん用林」があります。また、近くには自然の川をせき止めて「夢の碗プール」が作られています。環境を守るための人々の努力です。
- ぼくたちは「自然」に住まわせてもらっています。二十一世紀に向かって「環境を守ろう」とみんなに呼びかけ、一人一人が努力して行こうではありませんか。

お母さんが言っていました。

「大内って静かだよな。」

私もそう思います。大内は、いなかでもないし、都会っぽくもない、いい所です。私の家の近くには、木がたくさんあるので、空気もいいです。大内は、自然的であって、大好きです。昔もこうだったのかな。

そんな大内は、21世紀になっても、今のままで残っていてほしいです。東京のようにビルやホテルがたくさんある、せま苦しいような感じになってほしくないです。今の自然的な大内が一番です。大分県の安岐町は、おじいちゃん、おばあちゃんの家があります。いなかだけど、夏になれば、とんぼがたくさん出てきます。生き物がぐらすには、いい所です。緑もたくさんあってきれいです。いい町NO2くらいです。

将来は、交通整備（バスを増やす）をして、お年寄りに「便利」と言われ

るような大内になってほしいです。私個人では、ごみが川に捨ててあったり、草の周りや道路にあってたりしているので、ごみが1つも落ちていない、きれいな大内になってほしいです。事故が少ない大内なので、21世紀になっても、ずっとそのままだ大内であってほしいです。

お母さんが言うには、21世紀になると、子供の人数が減るのでは、と予想しています。大内は、子供が今多いので、みんな大人になると、急げきに減ってしまうのだと思います。でも、大内の人達は、優しいと思うから、都会に出ていく人もそんなにいないと思います。思いたけれど、本当のような気がします。本当であってほしいです。

人口は、少ないかもしれないけど、静かで自然的で、優しい人達がいて...。私は大内は最高だと思います。21世紀になったら、「静かでいい大内」と言われたい気持ちです。

21世紀に向けて

Message for 21century

僕の私のメッセージ

自然との調和

Message for 21century

大内中学校 松原 由佳

「大内のどこが好きか。」と聞かれ、自然があることだと答えるだろう。大都会の華やかな雰囲気にもそれなりに慣れるが、登校や下校途中に見える、川や山の本々を見て穏やかな気分になっている自分に気づくと、自分は結局十四年間ずっと育ってきたここ大内に、すっかり順応しきっているんだなあ、と思う。

でも、ここ大内地区の自然も、私の小さい頃に比べると、ずいぶん減ってしまった。幼稚園が終った後祖母とよく畑へ行っていた。その周りの自然も今はもうない。小学校の頃友達と寝ころんだ花畑も、家の後ろの草むらも、今は、たぐさんの家が変わってしまった。それが、大内地区を良くしていくためなら仕方がないけれど、私にいろいろな事を教えてくれた自然が壊されてゆくのはとてもつらいことだ。そんな時、大切な自然を、私たちの思い出を、壊してまで進んでいく開発は、私たちに

なものであつてほしいとつくづく思う。道路を広くすることも必要だし、お店もいろいろあれば便利だ。焼却場だつても役立て立っている。今、私たちがとつてそれらの開発は、ここ大内地区に住んでるうえで大変便利だと思う。しかし、その便利さを求めすぎて自然を壊し続けられ、逆に私たち自身にいろいろな害がおよぼされる。だから、私は自然を守るための開発こそが必要だと思う。例えば、今やっている下水道の工事は川を汚さない大切な開発だ。こういった開発はこの大内地区が自然と調和しながら発展していくために大切なことだと思ふ。人間はどんなに便利さを生み出してゆくけれど、自然だけは作ることが出来ない。だから守つてゆかなければならないのだと思ふ。

もうすぐ21世紀だ。でも私は、大内地区の今抱えている問題が解決して、もつと住みよい大内地区が出来たとき、本当の意味での21世紀だと思う。きっと私はその時、大内地区のことがもつと好きになつていくだろう。

未来へ

Message for 21century

大内青年団

私 たち大内青年団が再結成したのは、公民館が設置50周年を迎えた年の11月でした。性別・年齢の枠を超えたメンバーで「なにかやろう」を合い言葉に、集まつては大内のこと、メンバー個人のこと、最近の話題など情報交換（雑談）をしていました。

そんな中で、公民館や地区内の団体・個人のご協力を頂き「どんなにでも大内場所」を開催することができました。このような活動が、少しでも大内地区の活性化につながればと思います。

大内地区は、急激な人口の増加が続いており、平成11年の春には人口が2万人を突破しました。青年団も団員の急激な増加はないものの、大内に生まれ育った人や、たまたま大内のアパートに引っ越してきた人、他地区住民の人々など多様な面々が揃い、お互いの刺激を与え、また刺激を受けています。

また、今後、大内子ども会（子ども達自身の会）の執行部経験者達と青年団との交流を深めながら、子ども会活動を通じて得た体験を地域社会に活か

すことができるよう、「そつと支える青年団」という役割もこれから担っていくたいと思います。

21世紀も間近に迫り、急速に変化した多様化する社会の中で、今後も地区の皆様が生涯学習の拠点となる公民館を活用され、地域に密着した大内青年団が、団員も楽しみながら、活動を続けていることを望んで「未来へ」を結びます。

